

☆ 初めて出会う絵本 ～0歳児の絵本の選び方～ ☆

0歳児の発達と絵本

感覚や体の発達がめざましい0歳児には、月齢に合った絵本に出会わせてあげましょう。

絵本選びのポイント

① 大きくはっきりした絵

赤ちゃんに絵本を読んであげるとき、まず知っておいてほしいのは、視力はまだ弱いということです。

生後2か月では視力0.02程度、1歳を過ぎるころにようやく0.3に達するそうです。ですから、輪郭がはっきりしていて、色もはっきりしている絵本のほうが、集中しやすいようです。また、赤ちゃんは空間の中にある丸や点に集中しやすいといわれています。人間や動物の絵であれば、前向きで、2つの目がそろって描かれているものなどがわかりやすいでしょう。

② リズムのある文章

次に知っておいてほしいことは、聴力は非常に発達しているということです。ですから、絵本を読んであげているときに、絵は見えていなくても耳では言葉を聞いていることを忘れないでください。そこで大切なことは、絵本の内容を展開している言葉です。リズムのある、そして赤ちゃんにとって身近な言葉が書かれている絵本を選んで読んであげましょう。耳で言葉を聞きとっていくことによって、言葉への興味と関心が育まれ、絵本を楽しむ心が育つ土台になるからです。

「いない いない ばあ」  
松谷みよ子/文、  
瀬川康男/絵、童心社



引用文献

高山智津子、徳永満理 「絵本でひろがる子どものえがお 発達にそった年齢別読み聞かせ」  
チャイルド本社(2004)